# 平成25年２月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月４日

上場会社名　　株式会社良品計画　　上場取引所　東
コード番号　　7453　　ＵＲＬ　http://ryohin-keikaku.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）金井　政明
問合せ先責任者　（役職名）経理財務担当部長　　（氏名）武内　健治　　ＴＥＬ　03-3989-7381
四半期報告書提出予定日　　平成24年10月９日　　配当支払開始予定日　平成24年11月１日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年２月期第２四半期の連結業績（平成24年３月１日～平成24年８月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年２月期第２四半期 | 91,379 | 6.4 | 9,503 | 35.7 | 9,742 | 33.1 | 4,759 | 12.8 |
| 24年２月期第２四半期 | 85,852 | 4.5 | 7,004 | 27.5 | 7,318 | 29.4 | 4,219 | 26.9 |

（注）包括利益　25年２月期第２四半期　6,235百万円（73.3%）　24年２月期第２四半期　3,598百万円（―%）

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年２月期第２四半期 | 177.63 | 176.99 |
| 24年２月期第２四半期 | 157.50 | 157.02 |

（２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | １株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 25年２月期第２四半期 | 106,424 | 88,318 | 81.5 | 3,235.15 |
| 24年２月期 | 102,293 | 83,528 | 80.0 | 3,055.61 |

（参考）自己資本　25年２月期第２四半期　86,686百万円　24年２月期　81,861百万円

２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年２月期 | ― | 55.00 | ― | 55.00 | 110.00 |
| 25年２月期 | ― | 55.00 | | | |
| 25年２月期（予想） | | | ― | 55.00 | 110.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年２月期の連結業績予想（平成24年３月１日～平成25年２月28日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 191,220 | 7.3 | 19,400 | 25.7 | 19,460 | 20.6 | 10,550 | 19.2 | 393.73 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
新規　－社　（社名　　）、除外　－社　（社名　　）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有
（注）詳細は、【添付資料】Ｐ．４「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無
（注）詳細は、【添付資料】Ｐ．４「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 25年２月期２Ｑ | 28,078,000株 | 24年２月期 | 28,078,000株 |
| ②　期末自己株式数 | 25年２月期２Ｑ | 1,282,932株 | 24年２月期 | 1,287,332株 |
| ③　期中平均株式数（四半期累計） | 25年２月期２Ｑ | 26,792,055株 | 24年２月期２Ｑ | 26,789,668株 |

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きを実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、四半期決算短信【添付資料】Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（参考）個別業績予想

平成25年2月期の個別業績予想（平成24年３月１日～平成25年２月28日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通期 | 159,114 | 5.4 | 16,072 | 25.6 | 16,599 | 21.0 | 8,608 | 17.7 | 321 | 25 |

（注）個別業績予想の数値の当四半期における修正の有無： 有

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）セグメント情報等 …… 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12
（７）重要な後発事象 …… 12
４．補足情報 …… 13
（１）販売実績 …… 13
（２）仕入の状況 …… 14

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における世界経済は、欧州債務問題を基点とした世界的な景気の下振れが、より顕著になってまいりました。ユーロ圏においては、2012年４－６月期の実質ＧＤＰ成長率が、前年同期比0.2%減のマイナス成長となりました。米国や中国においても、個人消費に支えられたプラス成長が持続しているものの、成長ペースは鈍化しつつあります。米国では３四半期連続、中国においては６四半期連続で、実質ＧＤＰ成長率の低下が続いております。

また、国内では、2012年４－６月期の実質ＧＤＰ成長率が、前年同期に比べて0.7%の増加にとどまりました。火力発電用燃料の輸入拡大などによる輸入の増加が見られる一方で、世界的な景気の下振れの影響により、輸出が伸び悩み、2011年３月から続く貿易赤字の存在が、不安要素として影を落としております。一方、民間の設備投資の拡大、雇用情勢の好転が見られる中、今後の内需中心の景気底上げが期待されます。

このような状況の中、当社グループは“「感じ良いくらし」を実現する企業”として、『ムダをなくす取組み（廃棄物削減）』『天然資源の保全』『安心・安全への配慮』『絆を大切にする活動』『温暖化への配慮』といったテーマを軸に、より良い商品の開発、店舗数の拡大に努めてまいりました。

当第２四半期連結累計期間における当社グループの業績は、次のとおりであります。

| | | |
|---|---|---|
| 営業収益 | 913億79百万円 | （前年同期比　6.4%増） |
| 売上高 | 910億32百万円 | （前年同期比　6.5%増） |
| 営業利益 | 95億３百万円 | （前年同期比　35.7%増） |
| 経常利益 | 97億42百万円 | （前年同期比　33.1%増） |
| 四半期純利益 | 47億59百万円 | （前年同期比　12.8%増） |

国内事業及びアジア事業を中心に売上高が伸長したことに加え、値下の抑制及び経費の効率化を進めたことにより、営業利益及び経常利益は前年同期に続いて２桁の増益となりました。

なお、当社が保有する投資有価証券のうち、時価が著しく下落しているものについて17億19百万円の投資有価証券評価損を特別損失として計上いたしております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 国内直営事業

国内直営事業は、直営店の売上高が前年同期に比べ5.2%の増加、ＷＥＢ事業の売上高が前年同期に比べ18.6%の増加となり、高い伸びを示しました。

商品別では、衣服・雑貨部門においては、アイテムのバリエーションを広げた「重ねて着る」カットソーシリーズ、「ＵＶカット素材を使った幾通りにも使えるケープ」シリーズなどの、婦人ウェアが好調に推移しました。また、トラベル＆モバイルに関連した「MUJI to GO」キャンペーンにおいて、「キャリーバーの高さを自由に調節できるハードキャリー」シリーズがヒット商品として大きく飛躍しました。

生活雑貨部門においては、アロマ関連やエイジングケア関連の商品が好調に推移いたしました。

一方、食品部門においては、前年同期に実施したテレビコマーシャルを本年は実施しなかったことが影響し、前年同期に比べて減収となりました。

出退店は、４店舗の出店、１店舗の退店を実施し、当第２四半期連結会計期間末の店舗数は、259店舗となりました。

この結果、国内直営事業の営業収益は616億27百万円（前年同期比6.3%増）、セグメント利益は67億67百万円（同41.7%増）となりました。

② 国内供給事業

一般供給先店舗及び西友店舗は、国内直営事業と同様に衣服・雑貨部門が好調に推移したものの、生活雑貨部門及び食品部門の低迷を補えず、店頭売上高が前年同期に比べて1.9%の減少となりました。その結果、供給売上高も減収となりました。一方、ファミリーマートグループへの供給事業では、肌着を中心に夏場の売上が伸張し、増収となりました。

出退店は、２店舗の出店を実施し、当第２四半期連結会計期間末の店舗数は、118店舗となりました。

この結果、国内供給事業の営業収益は131億73百万円（同1.4%減）、セグメント利益は11億58百万円（同15.0%増）となりました。

③ 欧州地域事業

失業率の増加等、経済指標の悪化が顕著となったイタリアにおいて、売上高が低調となりましたが、他の欧州各国における既存店売上高は増収となりました。

商品別では、２月から３月にかけ、欧州全域に渡る厳しい寒波の影響により、衣服・雑貨が低調となる一方で、アロマ関連を中心とした生活雑貨が好調に推移いたしました。

出退店は、４店舗の出店（直営店）、１店舗の退店（直営店）を実施し、当第２四半期連結会計期間末の店舗数は、57店舗となりました。

この結果、欧州地域事業の営業収益は33億41百万円（同2.2%減）、セグメント損失は96百万円（前年同期は41万円の損失）となりました。

④ アジア地域事業

強化地域である中国本土では、夏物衣料品の販売が好調に推移しました。また、かねてより進めてきた原価低減の取組の効果が現れ始め、差益率が安定してきました。それにより、高い営業利益率を達成しております。

一方、香港を含む他のアジア各国・地域においては、売上は伸長したものの、在庫調整に伴う値下拡大により売上総利益率の悪化が影響し、減益となりました。

出退店は、12店舗の出店（うち３店舗は供給店）、２店舗の退店（うち１店舗は供給店）を実施し、当第２四半期連結会計期間末の店舗数は115店舗となりました。

この結果、アジア地域事業の営業収益は85億42百万円（同28.0%増）、セグメント利益は８億16百万円（同45.6%増）となりました。

⑤ その他地域事業

その他地域のアメリカ合衆国では、店舗の認知に加え、ＷＥＢ事業の認知も広がりを見せ、売上高２桁増が継続しました。

当第２四半期連結会計期間末の店舗数は４店舗で、増減はありません。

この結果、その他地域事業の営業収益は５億49百万円（同15.7%増）、セグメント利益は42百万円（同640.9%増）となりました。

⑥ その他事業

当社の事業であるカフェ・ミール事業においては、2011年６月に出店した２店舗が好調に推移したことにより、増収となりました。また、IDEE事業においては、好調である企画営業が寄与し、増収となりました。

この結果、その他事業の営業収益は41億44百万円（同5.2%増）、セグメント利益は８億５百万円（同1.7%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は、1,064億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億30百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加26億52百万円、有価証券の増加10億６百万円、定番性の高い商品の販売機会ロスを減らすため、在庫水準を高めたことなどによる、商品の増加11億38百万円によるものです。

負債は181億６百万円と６億58百万円減少いたしました。これは主に、買掛金の減少４億16百万円によるものです。

純資産は883億18百万円と47億89百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加32億85百万円によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成24年４月12日付「平成24年２月期　決算短信」にて発表いたしました、平成25年２月期（平成24年３月１日～平成25年２月28日）通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成24年10月４日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## ２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の算定方法）

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計基準等の改正に伴う会計方針の変更）

第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号　平成22年６月30日）、「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号　平成22年６月30日）及び「１株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第９号　平成22年６月30日）を適用しております。

潜在株式調整後１株当たり四半期純利益の算定にあたり、ストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第２四半期連結累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額は157円00銭であります。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

## ３．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成24年２月29日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 16,033 | 18,685 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,988 | 4,752 |
| 有価証券 | 9,012 | 10,019 |
| 商品 | 21,869 | 23,008 |
| 仕掛品 | 24 | 63 |
| 貯蔵品 | 15 | 14 |
| 未収入金 | 4,732 | 4,936 |
| その他 | 3,160 | 2,811 |
| 貸倒引当金 | △3 | △4 |
| 流動資産合計 | 59,833 | 64,286 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 19,882 | 20,546 |
| 減価償却累計額 | △11,688 | △12,471 |
| 建物及び構築物（純額） | 8,194 | 8,074 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,828 | 1,497 |
| 減価償却累計額 | △1,390 | △1,306 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 438 | 190 |
| 工具、器具及び備品 | 9,515 | 10,224 |
| 減価償却累計額 | △7,546 | △8,007 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 1,968 | 2,216 |
| 土地 | 1,038 | 1,038 |
| 建設仮勘定 | 97 | 245 |
| その他（純額） | 7 | 5 |
| 有形固定資産合計 | 11,743 | 11,771 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 0 | － |
| その他 | 3,695 | 3,788 |
| 無形固定資産合計 | 3,696 | 3,788 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 10,140 | 10,583 |
| 敷金及び保証金 | 15,001 | 14,850 |
| その他 | 2,057 | 1,311 |
| 貸倒引当金 | △179 | △166 |
| 投資その他の資産合計 | 27,020 | 26,578 |
| 固定資産合計 | 42,460 | 42,138 |
| 資産合計 | 102,293 | 106,424 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成24年２月29日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 8,933 | 8,516 |
| 短期借入金 | 67 | 99 |
| 未払法人税等 | 3,235 | 3,219 |
| 賞与引当金 | 186 | 174 |
| 役員賞与引当金 | 71 | 30 |
| 店舗閉鎖損失引当金 | 152 | 41 |
| 返品調整引当金 | － | 65 |
| その他 | 5,539 | 5,385 |
| 流動負債合計 | 18,186 | 17,533 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 115 | 109 |
| 解約不能賃借契約損失引当金 | 80 | 82 |
| その他 | 382 | 381 |
| 固定負債合計 | 578 | 572 |
| 負債合計 | 18,765 | 18,106 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,766 | 6,766 |
| 資本剰余金 | 10,119 | 10,120 |
| 利益剰余金 | 72,183 | 75,468 |
| 自己株式 | △3,961 | △3,947 |
| 株主資本合計 | 85,107 | 88,407 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △829 | 568 |
| 為替換算調整勘定 | △2,416 | △2,290 |
| その他の包括利益累計額合計 | △3,245 | △1,721 |
| 新株予約権 | 286 | 299 |
| 少数株主持分 | 1,380 | 1,332 |
| 純資産合計 | 83,528 | 88,318 |
| 負債純資産合計 | 102,293 | 106,424 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年３月１日<br>至　平成23年８月31日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年３月１日<br>至　平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 85,512 | 91,032 |
| 売上原価 | 46,499 | 48,286 |
| 売上総利益 | 39,012 | 42,745 |
| 営業収入 | 339 | 347 |
| 営業総利益 | 39,352 | 43,092 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 広告宣伝費 | 2,011 | 1,805 |
| 配送及び運搬費 | 3,609 | 3,805 |
| 従業員給料及び賞与 | 8,775 | 9,269 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 37 | 29 |
| 借地借家料 | 8,951 | 9,562 |
| 減価償却費 | 1,481 | 1,461 |
| その他 | 7,480 | 7,654 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 32,347 | 33,589 |
| 営業利益 | 7,004 | 9,503 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 14 | 12 |
| 受取配当金 | 193 | 192 |
| 持分法による投資利益 | 111 | 52 |
| その他 | 41 | 56 |
| 営業外収益合計 | 360 | 314 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 0 | 2 |
| 為替差損 | 38 | 69 |
| その他 | 7 | 3 |
| 営業外費用合計 | 46 | 75 |
| 経常利益 | 7,318 | 9,742 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 15 | － |
| 店舗閉鎖損失引当金戻入額 | 201 | － |
| 特別利益合計 | 217 | － |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 110 | 26 |
| 投資有価証券評価損 | － | 1,719 |
| 災害による損失 | 386 | － |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | － | 41 |
| その他 | 11 | 14 |
| 特別損失合計 | 508 | 1,803 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,027 | 7,939 |
| 法人税等 | 2,777 | 3,208 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 4,249 | 4,731 |
| 少数株主利益又は少数株主損失（△） | 30 | △27 |
| 四半期純利益 | 4,219 | 4,759 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年３月１日<br>至　平成23年８月31日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年３月１日<br>至　平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 4,249 | 4,731 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △673 | 1,398 |
| 為替換算調整勘定 | 21 | 94 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 2 | 10 |
| その他の包括利益合計 | △650 | 1,504 |
| 四半期包括利益 | 3,598 | 6,235 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,570 | 6,282 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 28 | △47 |

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年３月１日<br>至　平成23年８月31日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年３月１日<br>至　平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,027 | 7,939 |
| 減価償却費 | 1,199 | 1,203 |
| ソフトウェア投資等償却 | 376 | 316 |
| のれん償却額 | 0 | 0 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △15 | △11 |
| 役員賞与引当金の増減額（△は減少） | △4 | △41 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | △22 | △6 |
| 店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少） | △225 | △110 |
| 返品調整引当金の増減額（△は減少） | － | 65 |
| 受取利息及び受取配当金 | △207 | △205 |
| 支払利息 | 0 | 2 |
| 為替差損益（△は益） | 49 | 50 |
| 持分法による投資損益（△は益） | △111 | △52 |
| 固定資産除却損 | 147 | 26 |
| 投資有価証券評価損益（△は益） | － | 1,719 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 294 | 59 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △3,368 | △1,070 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 316 | △519 |
| その他の資産の増減額（△は増加） | △734 | 394 |
| その他の負債の増減額（△は減少） | 89 | △205 |
| 新株予約権 | 28 | 27 |
| その他 | 11 | 3 |
| 小計 | 4,852 | 9,585 |
| 利息及び配当金の受取額 | 306 | 279 |
| 利息の支払額 | △0 | △2 |
| 法人税等の支払額 | △2,749 | △3,252 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,409 | 6,609 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △28 | △13 |
| 定期預金の払戻による収入 | 26 | 43 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,003 | △1,227 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 12 | 0 |
| 店舗借地権及び敷金等の支出 | △663 | △375 |
| 店舗敷金等回収による収入 | 230 | 533 |
| 無形固定資産等の取得による支出 | △556 | △433 |
| その他 | △8 | △22 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,991 | △1,494 |

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年３月１日<br>至　平成23年８月31日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年３月１日<br>至　平成24年８月31日） |
|---|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | △246 | 31 |
| リース債務の返済による支出 | △3 | △2 |
| 自己株式の売却による収入 | ― | 0 |
| 配当金の支払額 | △1,473 | △1,472 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,723 | △1,443 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △19 | 16 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △1,323 | 3,688 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 23,244 | 24,858 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 21,920 | 28,547 |

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成23年３月１日 至　平成23年８月31日）

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | | | その他（百万円）（注）１ | 調整額（百万円）（注）２ | 四半期連結損益計算書計上額（百万円）（注）３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 国内直営事業（百万円） | 国内供給事業（百万円） | 欧州地域事業（百万円） | アジア地域事業（百万円） | その他地域事業（百万円） | 計（百万円） | | | |
| 営業収益 | | | | | | | | | |
| (1)外部顧客への営業収益 | 57,986 | 13,354 | 3,418 | 6,676 | 475 | 81,911 | 3,940 | － | 85,852 |
| (2)セグメント間の内部営業収益又は振替高 | 5 | 1 | － | － | － | 7 | 7,138 | △7,145 | － |
| 計 | 57,992 | 13,356 | 3,418 | 6,676 | 475 | 81,918 | 11,079 | △7,145 | 85,852 |
| セグメント利益又は損失（△） | 4,774 | 1,007 | △0 | 560 | 5 | 6,347 | 792 | △134 | 7,004 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外供給事業、飲食事業、キャンプ事業、生花販売事業、住宅販売事業、調達物流事業、ＩＤＥＥ事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△134百万円にはセグメント間取引消去△134百万円、のれんの償却額０百万円が含まれております。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成24年３月１日 至　平成24年８月31日）

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | | | その他（百万円）（注）１ | 調整額（百万円）（注）２ | 四半期連結損益計算書計上額（百万円）（注）３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 国内直営事業（百万円） | 国内供給事業（百万円） | 欧州地域事業（百万円） | アジア地域事業（百万円） | その他地域事業（百万円） | 計（百万円） | | | |
| 営業収益 | | | | | | | | | |
| (1)外部顧客への営業収益 | 61,627 | 13,173 | 3,341 | 8,542 | 549 | 87,235 | 4,144 | － | 91,379 |
| (2)セグメント間の内部営業収益又は振替高 | 4 | 3 | － | － | － | 8 | 7,926 | △7,934 | － |
| 計 | 61,632 | 13,176 | 3,341 | 8,542 | 549 | 87,243 | 12,070 | △7,934 | 91,379 |
| セグメント利益又は損失（△） | 6,767 | 1,158 | △96 | 816 | 42 | 8,687 | 805 | 10 | 9,503 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外供給事業、飲食事業、キャンプ事業、住宅販売事業、調達物流事業、ＩＤＥＥ事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額10百万円にはセグメント間取引消去10百万円、のれんの償却額０百万円が含まれております。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。

## ４．補足情報

### （１）販売実績

当第２四半期連結累計期間における販売実績（売上高）をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | | 売上高（百万円） | 前年同四半期比（%） |
|---|---|---|---|
| 国内直営事業 | 直営 | 55,840 | 105.2 |
| | ＷＥＢ | 5,701 | 118.6 |
| | 小計 | 61,541 | 106.3 |
| 国内供給事業 | | 13,173 | 98.8 |
| 欧州地域事業 | イギリス | 1,319 | 97.7 |
| | フランス | 986 | 102.4 |
| | ドイツ | 530 | 101.3 |
| | イタリア | 459 | 86.2 |
| | 小計 | 3,294 | 97.8 |
| アジア地域事業 | 中国 | 3,761 | 156.1 |
| | 香港 | 3,373 | 116.7 |
| | 韓国 | 744 | 93.7 |
| | シンガポール | 654 | 113.1 |
| | 小計 | 8,534 | 127.9 |
| その他地域事業 | アメリカ合衆国 | 535 | 114.6 |
| 報告セグメント計 | | 87,079 | 106.5 |
| その他 | | 3,952 | 105.0 |
| 合計 | | 91,032 | 106.5 |

（注）１．上記の金額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。
２．上記の金額は、売上高の金額であり、営業収入は含まれておりません。
３．売上高の商品別の構成は次のとおりであります。

| | 売上高（百万円） | 前年同四半期比（%） |
|---|---|---|
| 衣服・雑貨 | 30,999 | 112.1 |
| 生活雑貨 | 48,794 | 104.7 |
| 食品 | 7,213 | 98.0 |
| その他 | 4,024 | 102.8 |
| 合計 | 91,032 | 106.5 |

（注）１．上記の金額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。
２．上記の金額は、売上高の金額であり、営業収入は含まれておりません。

（２）仕入の状況

| セグメントの名称 | 仕入高（百万円） | 前年同四半期比（%） |
|---|---|---|
| 国内直営事業 | 31,898 | 99.9 |
| 国内供給事業 | 9,407 | 91.7 |
| 欧州地域事業 | 1,356 | 70.5 |
| アジア地域事業 | 5,202 | 105.3 |
| その他地域事業 | 228 | 91.5 |
| 報告セグメント計 | 48,092 | 97.6 |
| その他 | 7,868 | 102.9 |
| 合計 | 55,960 | 98.3 |

（注）１．上記の金額は、内部取引消去前の数値であります。
２．上記の金額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。